

明学大、全学生に5万円

学習環境整備に支援

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、明学大も打ち出しています。

治学院大学（東京都、横浜市）が緊急対策として在学学生全員に一律5万円の支給を決めました。同大学は今年度、インターネットを使ったオンライン形式で授業を開始しており、パソコンや周辺機器など学習環境の整備に支援が必要と判断しました。

同大学はまた、新型コロナで家計が急変した学生向けの特別な奨学金も検討。

どについて、今後も声を上げ続けたいといいます。

新型コロナウイルスをめぐっては、国立大学法人の東京農工大学が、アルバイト収入の減少などで生活が苦しくなった学生に5万〜10万円の給付型奨学金の支給を決定。本紙の調べで、全国約50の大学で学費免除などを求める署名が取り組まれています。

学費などの納入期限の延期も打ち出しています。インターネットで学費のひかけ、目標の2千人分を達成した同大学4年生の金勇利さんは「早期の英断は学生の1人としてとても誇らしく思います。今後、このような対応が他大学にも波及していくことを願っています」と語ります。同時に、特別奨学金に返済義務があるのか、学生から徴収している施設費の使い道な